兵庫県

道路整備について

令和８年10月30日

建設常任委員会

土木部

道路企画課、道路街路課、道路保全課

目次

1　道路整備の進め方

基本方針・・・

1　道路整備の進め方

基本方針

1）ひょうごインフラ整備基本方針・ひょうごインフラ整備プログラム

・『ひょうごビジョン2050』に描く『強靱で持続可能な社会』の礎となるインフラの構築に向け、「経済、生活、防災･減災、持続」の４つの視点を基本に「ひょうごインフラ整備基本方針」を策定
・「分野別計画」等や「ひょうごインフラ整備プログラム」に基づき、事業の選択と集中の徹底を図り、道路整備を計画的に推進

ひょうごビジョン2050
「躍動する兵庫」
（インフラのめざす姿
強靱で持続可能な社会）

ひょうごインフラ整備基本方針
整備の視点
（**Ⅰ 経済　Ⅱ 生活**
Ⅲ 防災･減災 Ⅳ 持続）

事業実施に向けた分野別計画等

【分野別計画】
① ひょうご道路防災推進10箇年計画
② 兵庫県無電柱化推進計画
③ ひょうごｲﾝﾌﾗ･ﾒﾝﾃﾅﾝｽ10箇年計画

【その他事業推進に関連する計画等】
① ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画
② 兵庫地区渋滞対策協議会で位置付けた主要渋滞箇所
③ 踏切道改良計画
（兵庫県踏切道改良協議会合同会議で協議）
④ 各市町の通学路交通安全プログラム
⑤ 兵庫県自転車活用推進計画

[地域別]
重点化・優先順位位置付け
ひょうごインフラ整備プログラム

1　道路整備の進め方

基本方針

2）道路整備の取組

「ひょうごインフラ整備基本方針」に基づき、４つの視点、12の施策について、道路整備を推進

Ⅰ【経済】「経済」成長の実現　産業支援



施策１　高規格道路ネットワークの充実強化

Ⅱ【生活】安全・安心で住みやすい県民「生活」の実現　命を守る



施策２　安全安心な暮らしの実現
施策３　地域の交流・日々の暮らしを支える道路整備
施策４　都市の環境改善

Ⅲ【防災･減災】「防災･減災」対策による自然災害に強い社会の実現　気候変動



施策５　切迫する大規模地震に備える地震･津波対策
施策６　発災後の迅速な復旧･復興を支える緊急輸送道路等の機能強化
施策７　減災のための情報発信等
施策８　災害復旧

Ⅳ【持続】老朽化対策や脱炭素化への取組み等による「持続」可能な社会の実現　まちづくり



施策９　計画的・効率的な老朽化対策
施策10　官民連携（参画と協働による維持管理）
施策11　カーボンニュートラルの実現
施策12　インフラ DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

2　道路整備の取組状況

Ⅰ【経済】「経済」成長の実現

・県内外の広域的な交流・連携や地域の産業発展を促進する基幹道路八連携軸を構成する高規格道路の整備を推進
・道路ネットワークの効果を活かすため、高速道路の持続的利用・利活用の取り組みを推進

（1）高規格道路ネットワークの充実強化

1）高規格道路の整備推進

2）高速道路の持続的利用に向けた取組

3）高規格道路の利活用の推進

兵庫の道路ネットワーク



東西構成軸	構成路線
①日本海沿岸軸	山陰近畿自動車道
②中国内陸軸	中国自動車道（神戸JCT以西）
	新名神高速道路
③山陽内陸軸	中国自動車道（神戸JCT以東）
	山陽自動車道
	阪神高速11号池田線
	国道29号バイパス
④阪神播磨臨海軸	名神高速道路
	阪神高速３号神戸線
	阪神高速５号湾岸線
	阪神高速31号神戸山手線
	大阪湾岸道路西伸部
	第二神明道路
	神戸西バイパス
	名神湾岸連絡線
	国道２号バイパス
	播磨臨海地域道路

南北構成軸	構成路線
⑤播磨因幡軸	中国横断自動車道姫路鳥取線
⑥播磨但馬軸	北近畿豊岡自動車道（和田山JCT以北）
	播但連絡道路
⑦播磨丹波但馬軸	東播磨道
	東播丹波連絡道路
	北近畿豊岡自動車道（和田山JCT以南）
⑧日本海太平洋軸	舞鶴若狭自動車道
	神戸淡路鳴門自動車道
	阪神高速７号北神戸線
	阪神高速32号新神戸トンネル
	六甲北有料道路

【兵庫県　基幹道路八連携軸】

2　道路整備の取組状況

Ⅰ【経済】「経済」成長の実現

（1）高規格道路ネットワークの充実強化

1）高規格道路の整備推進

・高規格道路は防災、救急医療、企業活動や観光等に欠かせない重要なインフラ
・「ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画」に基づき、事業中路線の整備推進を図るとともに、播磨臨海地域道路の早期事業化に向けて取り組みを推進

【基幹道路八連携軸の整備状況】

（令和８年７月１日現在）

軸名称		延長（km） 開通済	事業中	未着手	合計	整備路線
東西軸	日本海沿岸軸	23.2 (45.7%)	19.9 (39.2%)	7.7 (15.2%)	50.8	山陰近畿自動車道
	中国内陸軸	121.6 (100.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	121.6	
	山陽内陸軸	127.8 (100.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	127.8	
	阪神播磨臨海軸	141.3 (63.1%)	24.1 (10.8%)	58.5 (26.1%)	223.9	名神湾岸連絡線、大阪湾岸道路西伸部 神戸西バイパス、播磨臨海地域道路
南北軸	播磨因幡軸	33.7 (100.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	33.7	
	播磨但馬軸	96.6 (95.0%)	5.1 (5.0%)	0.0 (0.0%)	101.7	北近畿豊岡自動車道
	播磨丹波但馬軸	59.7 (77.8%)	0.0 (0.0%)	17.0 (22.2%)	76.7	東播丹波連絡道路
	日本海太平洋軸	180.3 (100.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	180.3	
合計		784.2 (85.6%)	49.1 (5.4%)	83.2 (9.1%)	916.5	

注）１　基幹道路は、自動車専用道路など一定のアクセスコントロールがなされた走行性の高い道路
　　２　各路線の延長は兵庫県内の延長である。
　　３　ルートの定まっていない路線については想定延長としている。

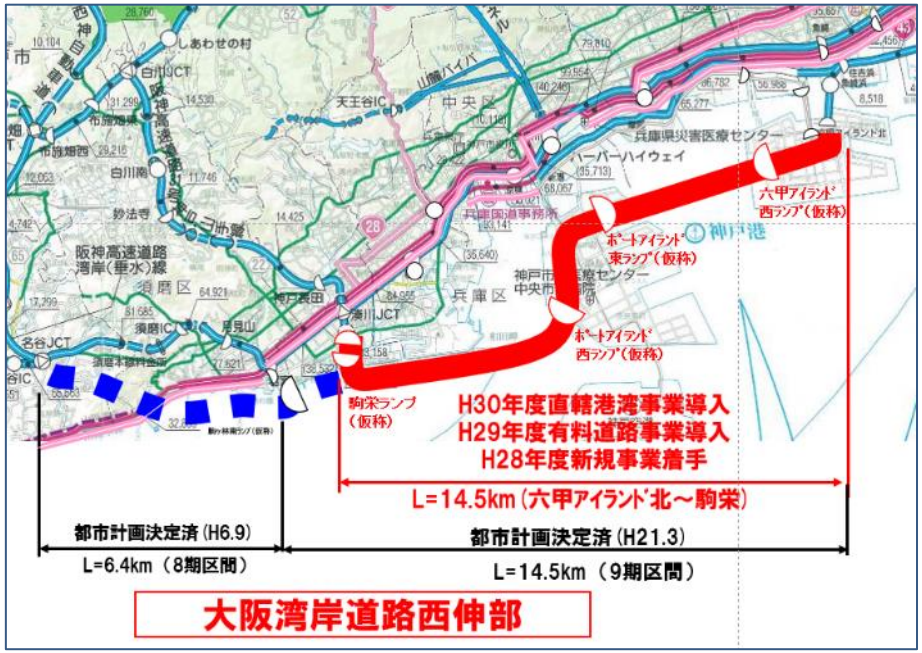
2　道路整備の取組状況

Ⅰ【経済】「経済」成長の実現

（1）高規格道路ネットワークの充実強化

① 大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド～名谷JCT　L=20.9km）
六甲アイランド北～駒栄　L=14.5km　[直轄事業（道路・港湾）＋阪神高速事業]

・調査設計、用地取得、駒栄工区開削ﾄﾝﾈﾙ工事、六甲ｱｲﾗﾝﾄﾞ地区橋梁工事、新港・灘浜航路部の主塔基礎工事及び設計を実施中
・早期完成に向けた事業推進を国、阪神高速㈱に要望





六甲アイランド地区（神戸市）

2　道路整備の取組状況

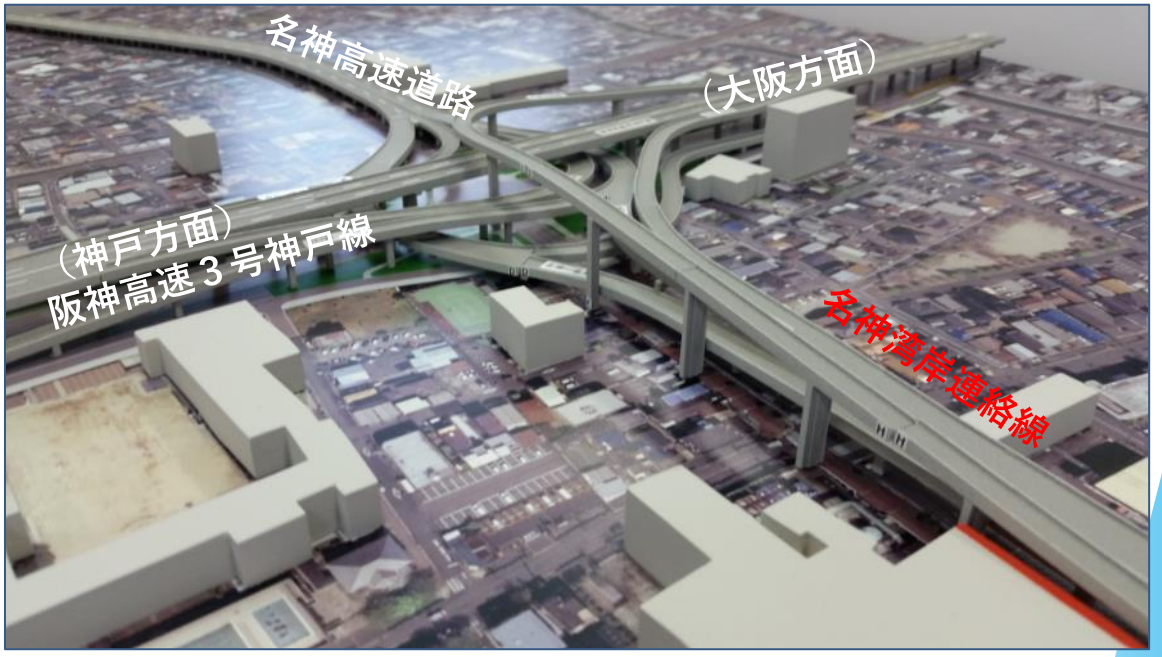
Ⅰ【経済】「経済」成長の実現

（1）高規格道路ネットワークの充実強化

② 名神湾岸連絡線（西宮市　L=2.7km）　[直轄事業＋阪神高速事業＋NEXCO事業]

・令和６年４月有料道路事業導入
　（仮称）西宮JCT・IC及び（仮称）西宮浜JCT・ICの橋梁設計等を実施中
・早期完成に向けた事業推進を国、阪神高速㈱、NEXCOに要望





（仮）西宮JCT・IC完成イメージ

2　道路整備の取組状況

Ⅰ【経済】「経済」成長の実現

（1）高規格道路ネットワークの充実強化

③ 神戸西バイパス（神戸市垂水区～明石市　L=12.5km）
永井谷JCT～石ケ谷JCT(自動車専用部　L=6.9km、一般部　L=4.4km)　[直轄事業＋NEXCO事業]

・埋蔵文化財調査、橋梁工事等を実施中
・早期完成に向けた事業推進、一般部の着実な整備推進による専用部との同時開通を国、NEXCOに要望





平野地区 橋梁上部工事（神戸市）

2　道路整備の取組状況

Ⅰ【経済】「経済」成長の実現

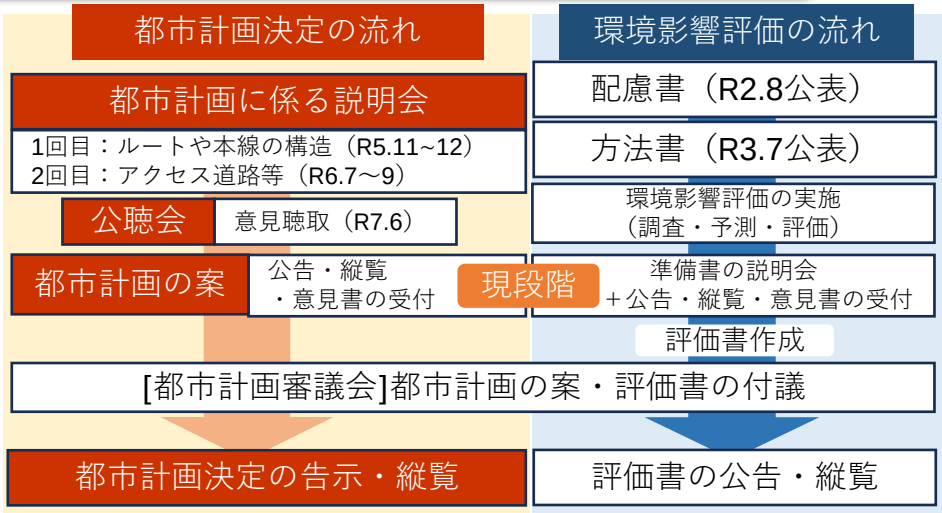
（1）高規格道路ネットワークの充実強化

④ 播磨臨海地域道路（神戸市～太子町　L=約50km）
第二神明～姫路市広畑　L=32km

・第二神明～姫路市広畑※について、
令和４年11月に国からルート計画案を手交
※当面、都市計画・環境影響評価手続を進める区間

・令和８年10月27日～11月27日にかけて都市計画の案の縦覧、環境影響評価準備書の縦覧及び説明会を開催

・早期事業化に向けた都市計画・環境影響評価手続への支援、早期完成に向けた有料道路事業の積極的な活用による財源確保を国に要望





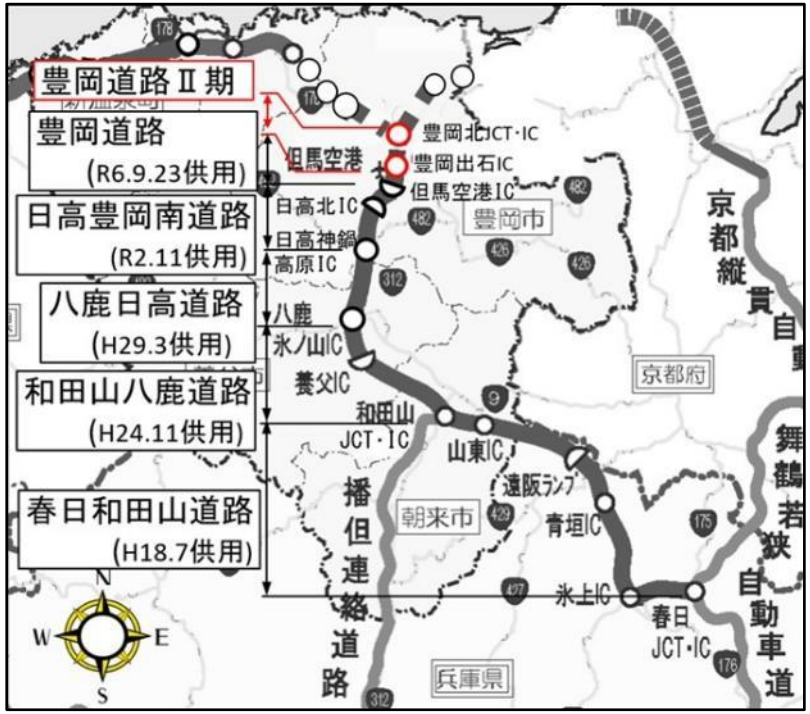
2　道路整備の取組状況

Ⅰ【経済】「経済」成長の実現

（1）高規格道路ネットワークの充実強化

⑤ 北近畿豊岡自動車道（豊岡市～丹波市春日町　L=73km）［直轄事業］
豊岡道路（Ⅱ期）　L=5.1km

・調査設計、用地取得、改良工事を実施中
・早期完成に向けた事業推進を国に要望





豊岡道路Ⅱ期 豊岡出石IC（豊岡市）

2　道路整備の取組状況

Ⅰ【経済】「経済」成長の実現

（1）高規格道路ネットワークの充実強化

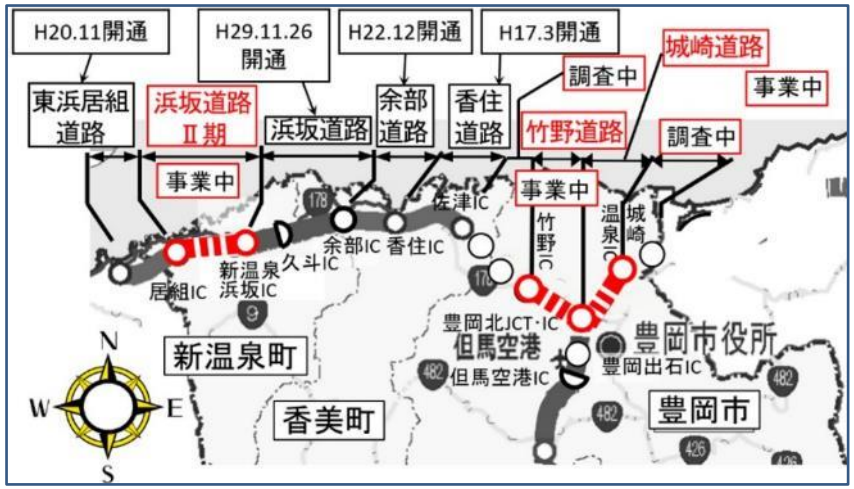
⑥ 山陰近畿自動車道（新温泉町～豊岡市　L=約51km）［県事業］

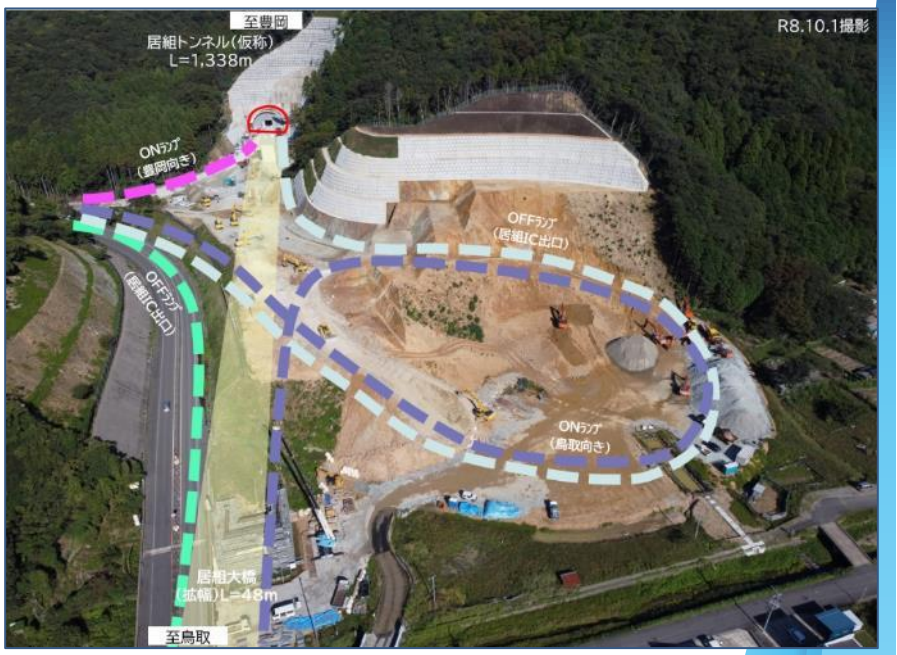
a 浜坂道路Ⅱ期（居組IC～新温泉浜坂IC）L=7.6km
- トンネル、橋梁上部、改良工事を実施中

b 竹野道路（竹野IC～豊岡北JCT･IC）L=4.9km
- 調査設計、用地取得、橋梁下部工事を実施中

c 城崎道路（豊岡北JCT･IC～城崎温泉IC）L=7.4km [直轄権限代行]
- 調査設計を実施中
- 早期用地取得に向けた事業推進を国に要望

d 佐津IC～竹野IC 、城崎温泉IC～府県境
- 未事業化区間の早期事業化に向けた調査費の予算確保を国に要望





浜坂道路Ⅱ期　居組IC付近
（新温泉町）

2　道路整備の取組状況

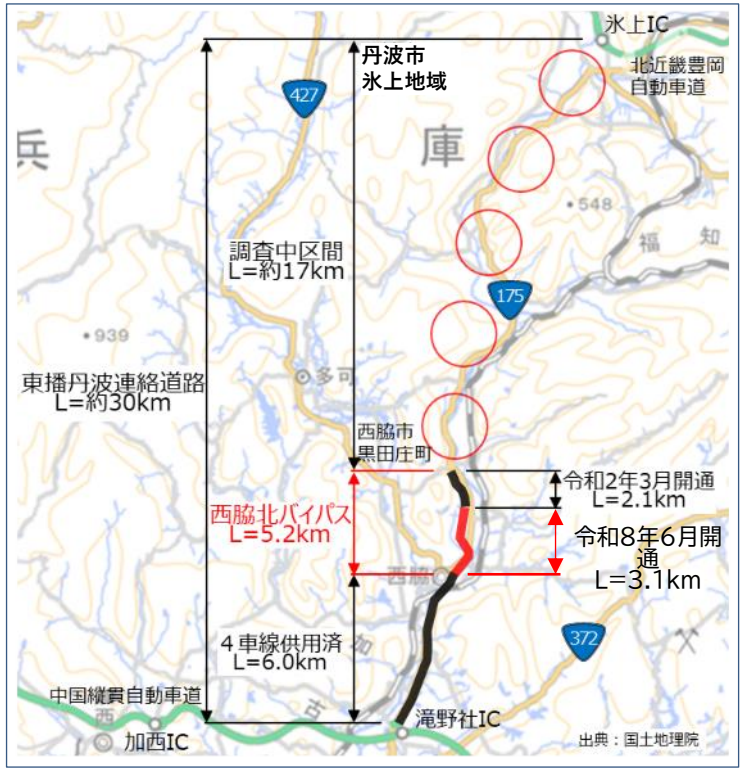
Ⅰ【経済】「経済」成長の実現

（1）高規格道路ネットワークの充実強化

⑦ 東播丹波連絡道路（加東市～丹波市氷上地域　L=約30km）［直轄事業］

a 西脇北バイパス（西脇市下戸田～黒田庄町　L=5.2km）
- 令和８年６月に暫定2車線で全線開通

b 西脇市黒田庄町～丹波市氷上地域（L=約17km）
- 早期事業化に向けた調査推進を国に要望





祝
R8.6.13
開通



西脇北バイパス　寺内ランプ付近（西脇市）

トピックス①

東播磨道全線開通（R7.11）の整備効果

① 地域の連携強化

・東播磨道未開通時と比べ、全線開通時では加古川市役所から小野市役所の間で17分移動時間が短縮（38分→21分）されるなど、地域の連携や人、モノの交流がさらに拡大

② 地域の活性化

・東播磨道の全線供用を見据えたひょうご小野産業団地の整備と企業進出により、約600人の雇用創出が見込まれる　など、地域の活性化に寄与

③ 安全・安心の確保

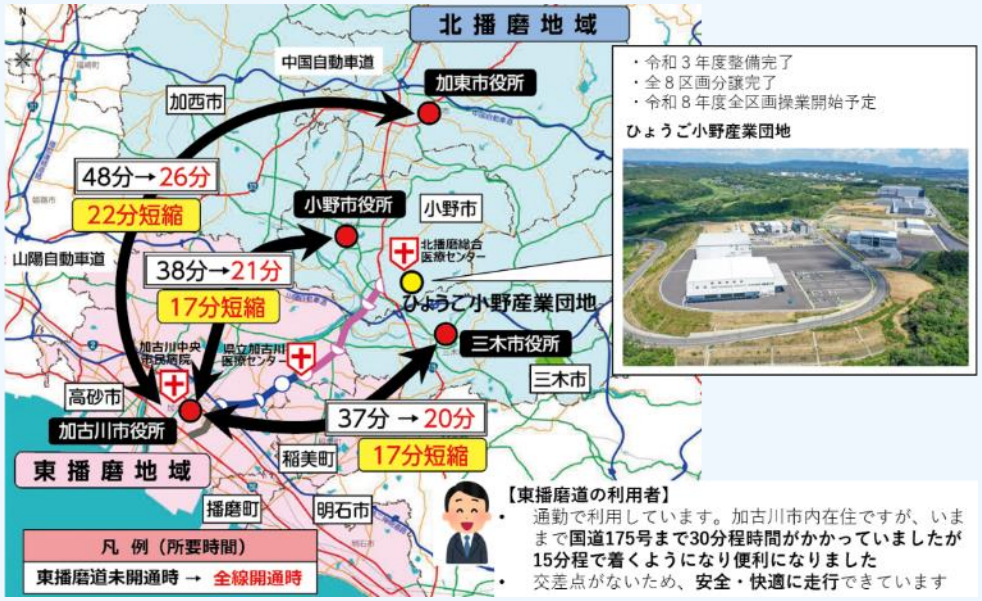
・全線開通により、県道加古川小野線等の現道交通量が減少し、交通が円滑化

・９箇所の交差点で渋滞が解消され、スムーズな交通となり安全性が向上

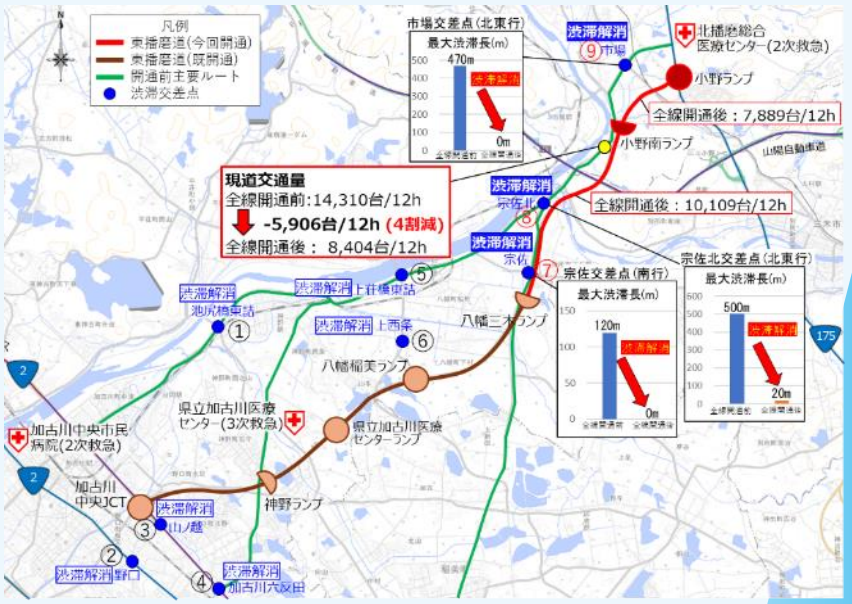


小野ランプ（小野市）

① 地域の連携強化・活性化



② 安全・安心の確保



2　道路整備の取組状況

Ⅰ【経済】「経済」成長の実現

（1）高規格道路ネットワークの充実強化

2）高速道路の持続的利用に向けた取組

① 有料の高速道路における更新・進化の着実な実施

・将来にわたり安全・安心な高速道路ネットワークを維持していくため、道路整備特別措置法等改正を踏まえた更新・進化事業を着実に実施

進化事業：暫定２車線道路の４車線化
耐震補強
SAの利便性向上　等



播但連絡道路 市川大橋　床版取替工事

② 播但連絡道路の管理運営の取組

・近年の人件費や物価高騰等に対応するため、学識経験者等を委員とする「播但連絡道路の今後の管運営のあり方等に関する有識者会議」を設置し、料金見直しについて検討中
　第１回(R8.5.22)、第２回(R8.7.31)
　第３回(R8.11上旬予定)、第4回(R8.12中予定)
・安全・安心な道路サービスを安定的に維持するための持続可能な管理運営体制の確立を目指す



有識者会議(第1回)の開催状況

2　道路整備の取組状況

Ⅰ【経済】「経済」成長の実現

（1）高規格道路ネットワークの充実強化

3）高規格道路の利活用の推進

道路ネットワークの効果を最大限活用するため、スマートインターチェンジ（以下SIC）の整備を推進

① スマートインターチェンジ（SIC）の整備

【事業中】
・三木SIC（山陽自動車道：三木市）
　［市事業＋NEXCO事業］
　改良工事を実施中＜令和９年春供用予定＞

【検討中（主なもの）】
・(仮称)相生SIC（山陽自動車道：相生市）
　国による調査（準備段階調査）着手が決定

【開通済】
・夢前SIC（中国自動車道：姫路市）
・淡路島中央SIC（神戸淡路鳴門自動車道：洲本市）
・宝塚北SIC（新名神高速道路：宝塚市）
・淡路北SIC（神戸淡路鳴門自動車道：淡路市）



三木SIC整備イメージ
（三木市）

2　道路整備の取組状況

Ⅱ【生活】安全・安心で住みやすい県民生活の実現

・安全・安心な暮らしの実現を目指し、歩行者や自転車の通行空間を確保
・高規格道路を補完する幹線道路の整備や良好な市街地の形成を図る街路網の整備、円滑な交通流を確保する渋滞対策などを推進

（1）安全・安心な暮らしの実現

1）歩行者の安全・安心な通行空間の確保

2）自転車の安全で快適な通行空間の確保

（2）地域の交流・日々の暮らしを支える道路整備

1）地域の個性ある発展を支える幹線道路網の整備

2）街路網の整備推進

3）渋滞対策の推進

4）問題踏切の解消

5）「道の駅」の整備

6）自転車活用の推進

（3）都市の環境改善

1）無電柱化の推進



自転車専用通行帯



渋滞対策
（立体交差、道路拡幅）



無電柱化の推進

2　道路整備の取組状況

Ⅱ【生活】安全・安心で住みやすい県民生活の実現

（1）安全・安心な暮らしの実現

1）歩行者の安全・安心な通行空間の確保（各市町の通学路交通安全プログラム）

通学児童の安全を確保するため、学校、警察、道路管理者等が連携して各市町が策定した「通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路において歩道整備等の交通安全対策を計画的に推進

【主な事業実施箇所】

［継続］

- 県道 西脇八千代市川線 [下牛尾]　(市川町)
- 国道 178号 [芦屋]　(新温泉町)
- 県道 多可柏原線 [玉巻]　(丹波市)
- 県道 広田洲本線 [大野]　(洲本市)

［完了］

- 県道 大沢西宮線 [甑岩町]　(西宮市)



歩道整備
国道 429号（宍粟市）

2　道路整備の取組状況

Ⅱ【生活】安全・安心で住みやすい県民生活の実現

（1）安全・安心な暮らしの実現

2）自転車の安全で快適な通行空間の確保

自転車の安全で快適な通行を確保するため、中高生の自転車通学の利用状況等を踏まえて、自転車通行空間整備を計画的に推進

【主な事業実施箇所】

［継続］

・県道 大阪伊丹線	(尼崎市)	【自転車道】
・国道 427号	(西脇市)	【車道混在】

［完了］

・県道 山本伊丹線	(伊丹市)	【自転車専用通行帯】



自転車道
県道 尼崎停車場線
（尼崎市）



自転車専用通行帯
県道 山本伊丹線
（伊丹市）



車道混在
国道 427号
（西脇市）



路肩拡幅
県道 本荘平岡線
(加古川市)

2　道路整備の取組状況

Ⅱ【生活】安全・安心で住みやすい県民生活の実現

（2）地域の交流・日々の暮らしを支える道路整備

1）地域の個性ある発展を支える幹線道路網の整備

地域産業の活性化、地域間の連携強化、防災機能の強化等を図るため、幹線道路網等の整備を計画的に推進

【主な事業実施箇所】

［継続］

- 国道 176号 [名塩道路]（直轄）　(西宮市～宝塚市)
- 国道 2 号 [和坂拡幅]　(明石市)
- 県道 広畑青山線　(姫路市)
- 県道 西田原姫路線 [西田原]　(福崎町)
- 国道 2 号 [相生有年道路]（直轄）　(相生市～赤穂市)
- 県道 赤穂佐伯線 [南]　(赤穂市)
- 県道 上福原佐用線 [山田Ⅱ]　(佐用町)
- 国道 28号　[洲本バイパス]（直轄）
  ＜令和10年夏供用予定＞　(洲本市)
- 国道 大谷鮎原神代線 [榎列掃守]　(南あわじ市)

［完了］

- 国道 429号 [榎峠バイパス]
  ＜令和 9 年春供用予定＞　(丹波市)
- 県道 竜泉那波線 [二期]
  ＜令和 9 年春供用予定＞　(相生市)



国道 2 号 [和坂拡幅]（明石市）



国道 429号 [榎峠バイパス]（丹波市）

トピックス②

開通箇所一覧※（令和７年度～現在まで）

路線名	工区名	市町名	延長等	整備内容	開通日
（主）豊岡竹野線	城崎大橋	豊岡市	L=562m	橋梁架替	令和７年５月31日
（主）小野藍本線	松沢バイパス	小野市～加東市	L=970m	バイパス	令和７年10月18日
（主）加古川小野線	東播磨道	加古川市～小野市	L=4,400m	バイパス（自専道）	令和７年11月30日
（主）三田西インター線	溝口～長坂	三田市	L=900m	バイパス	令和７年12月13日
（都）園田西武庫線	藻川工区	尼崎市	L=564m	バイパス	令和８年３月20日
（一）広畑青山線	夢前川右岸	姫路市	L=2,300m	バイパス	令和８年４月26日

※現道拡幅、交差点改良事業は除く



（主）小野藍本線　松沢バイパス（R7.10.18）



（一）広畑青山線　バイパス（R8.４.26）

2　道路整備の取組状況

Ⅱ【生活】安全・安心で住みやすい県民生活の実現

（2）地域の交流・日々の暮らしを支える道路整備

2）街路網の整備推進

渋滞解消による交通円滑化や歩行者･自転車の安全の確保及び都市の防災機能の向上を図るため、街路網の整備を計画的に推進

【主な事業実施箇所】

［継続］

- 都市計画道路 尼崎宝塚線 [阪急立体]　(尼崎市)
- 都市計画道路 中筋伊丹線 [中筋]　(宝塚市)
- 都市計画道路 塚口長尾線 [昆陽南]　(伊丹市)
- 都市計画道路 西脇上戸田線 [東本町]　(西脇市)
- 都市計画道路 国道線 [姫路東]　(姫路市)
- 都市計画道路 国道２号線 [加古川橋]　(加古川市)
  <令和９年秋供用予定>

現　況



完成イメージ



都市計画道路 尼崎宝塚線[阪急立体]
（尼崎市）

2　道路整備の取組状況

Ⅱ【生活】安全・安心で住みやすい県民生活の実現

（2）地域の交流・日々の暮らしを支える道路整備

3）渋滞対策の推進

・交通渋滞の解消・緩和のため、渋滞箇所において、右折車線設置やバイパス整備等を推進

【主な事業実施箇所】
［継続］
・都市計画道路 国道２号線 [加古川橋西詰交差点]　(加古川市)
・県道 大江島太子線 [下太田交差点]　(姫路市)



交差点改良
県道 大江島太子線【下太田交差点】
（姫路市）

・スマートフォンから得られる位置情報データを基に、人や車の移動経路等を詳細に分析し、新たな視点での渋滞対策を検討

【主な事業実施箇所】
［継続］
・宝塚市市街地　宝塚市役所周辺
・姫路市広畑地区　国道250号周辺





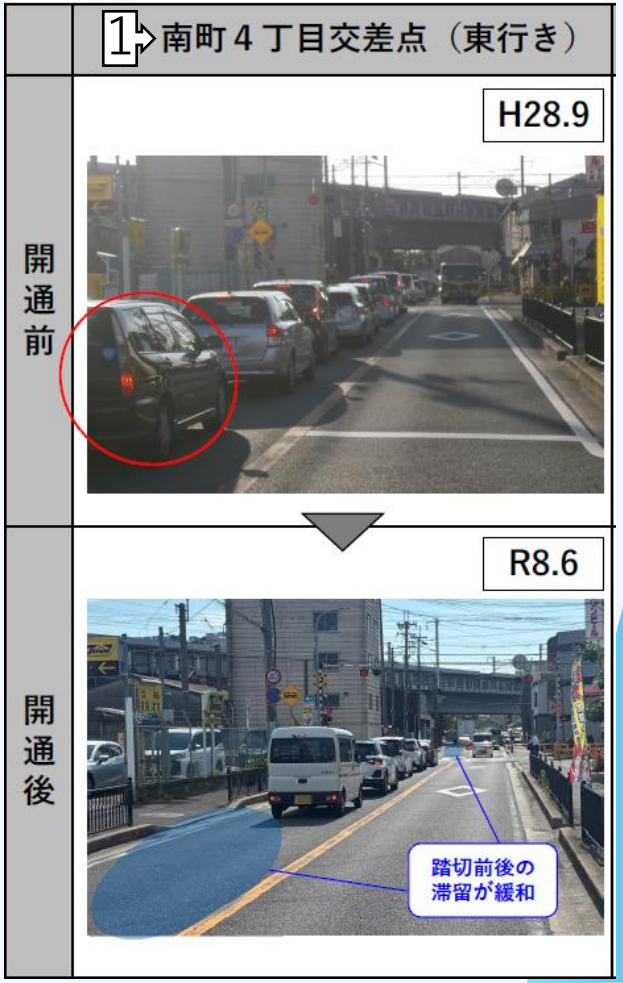
土木計画学研究発表会にて
ビッグデータの取組を発表
（福井工業大学）

トピックス③

都市計画道路　園田西武庫線（藻川工区）の開通

・令和８年３月20日に藻川工区（L＝564m）が完成し、(都)園田西武庫線が全線開通
・主要交差点の渋滞長が最大で380m減少し、交通の円滑化及び安全性が向上
・全線開通により、当該区間の所要時間が、南北の迂回ルートに比べ、約６分短縮

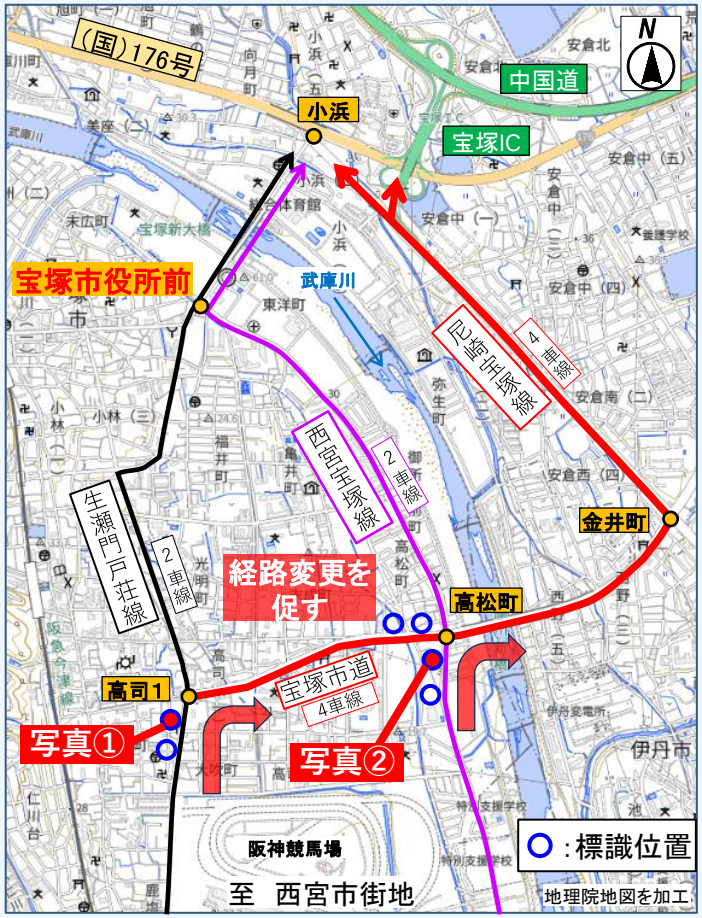


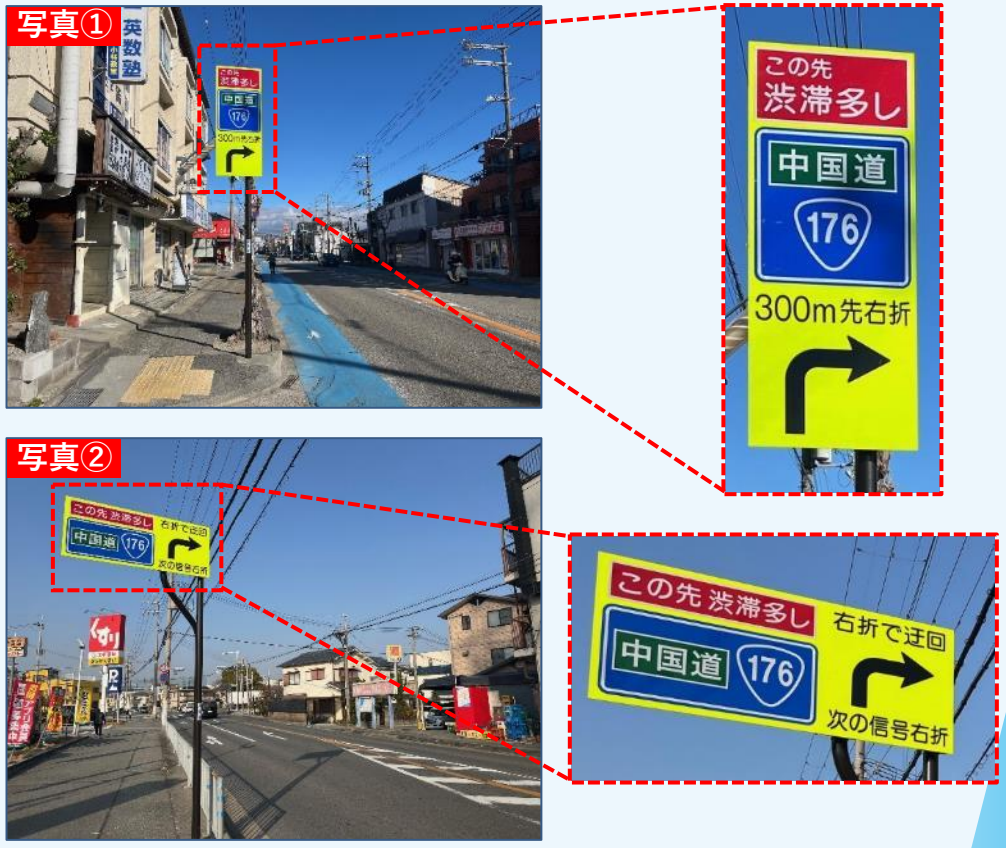


トピックス④

ビッグデータを活用した渋滞対策

・携帯電話の位置情報を基に県内の交通流動を再現し、渋滞対策の検討に着手
・宝塚市街地へ北上流入する車両の一定数が、主要渋滞箇所である宝塚市役所前交差点を経由していることを確認
・交通容量に余裕のある尼崎宝塚線（４車線拡幅事業が完了）等への迂回を誘導する標識を設置し、道路利用者に移動経路の変更を促進　⇒ 今後、効果検証を予定





誘導標識の設置状況（宝塚市）

2　道路整備の取組状況

Ⅱ【生活】安全・安心で住みやすい県民生活の実現

（2）地域の交流・日々の暮らしを支える道路整備

4）問題踏切の解消

① 連続立体交差事業の推進

開かずの踏切等による交通渋滞の解消や駅周辺のまちづくりのため、連続立体交差事業を推進

ａ　ＪＲ山陽本線東加古川駅付近（加古川市）

・平成30年度～令和元年度に事業調査※1を実施

・令和２年度から着工準備※2に着手

ｂ　山陽電鉄本線高砂駅～荒井駅付近（高砂市）

・令和２年度～令和３年度に事業調査※1を実施

・令和４年度から着工準備※2に着手

※１　事業調査：着工準備に向けた基本的な計画策定

※２　着工準備：事業着手に向けた調査・設計、都市計画決定





山陽電鉄本線高砂駅～荒井駅付近（高砂市）

② 踏切対策の推進

踏切による渋滞の解消や歩行者の安全確保を図るため、立体交差化や踏切部の歩道拡幅等を推進

【主な事業実施箇所】

［継続］

・県道 太子御津線 [茶ノ木踏切]　　(姫路市・太子町)



県道 太子御津線[茶ノ木踏切]
（姫路市・太子町）

2　道路整備の取組状況

Ⅱ【生活】安全・安心で住みやすい県民生活の実現

（2）地域の交流・日々の暮らしを支える道路整備

5）「道の駅」の整備

・道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、活力ある地域づくりを行うための「地域の連携交流機能」を併せ持つ「道の駅」の整備を推進
・国が推進する「防災道の駅」の整備をはじめ、道の駅の防災拠点機能の強化については、地域の防災力の強化にもつながるため、積極的に市町へ働きかけていく

県内での登録数37駅
・県管理道路沿道　　22駅（うち道路管理者との一体型※ 13駅）
・その他の道路沿道　15駅（県道路公社、国土交通省、神戸市）
※道路管理者(駐車場、トイレ等)と市町(地域振興施設等)が連携し、一体的に整備する道の駅

【主な事業実施箇所】
［継続］
・（仮称）道の駅「姫路」　【一体型（都道府県）】(姫路市)
［完了］
・道の駅「こんだ温泉ぬくもりの郷」【一体型（市町村）】(丹波篠山市)
＜令和９年春供用予定＞



道の駅「こんだ温泉ぬくもりの郷」
（丹波篠山市）

2　道路整備の取組状況

Ⅱ【生活】安全・安心で住みやすい県民生活の実現

（2）地域の交流・日々の暮らしを支える道路整備

6）自転車活用の推進

（兵庫県自転車活用推進計画（R6～R15））

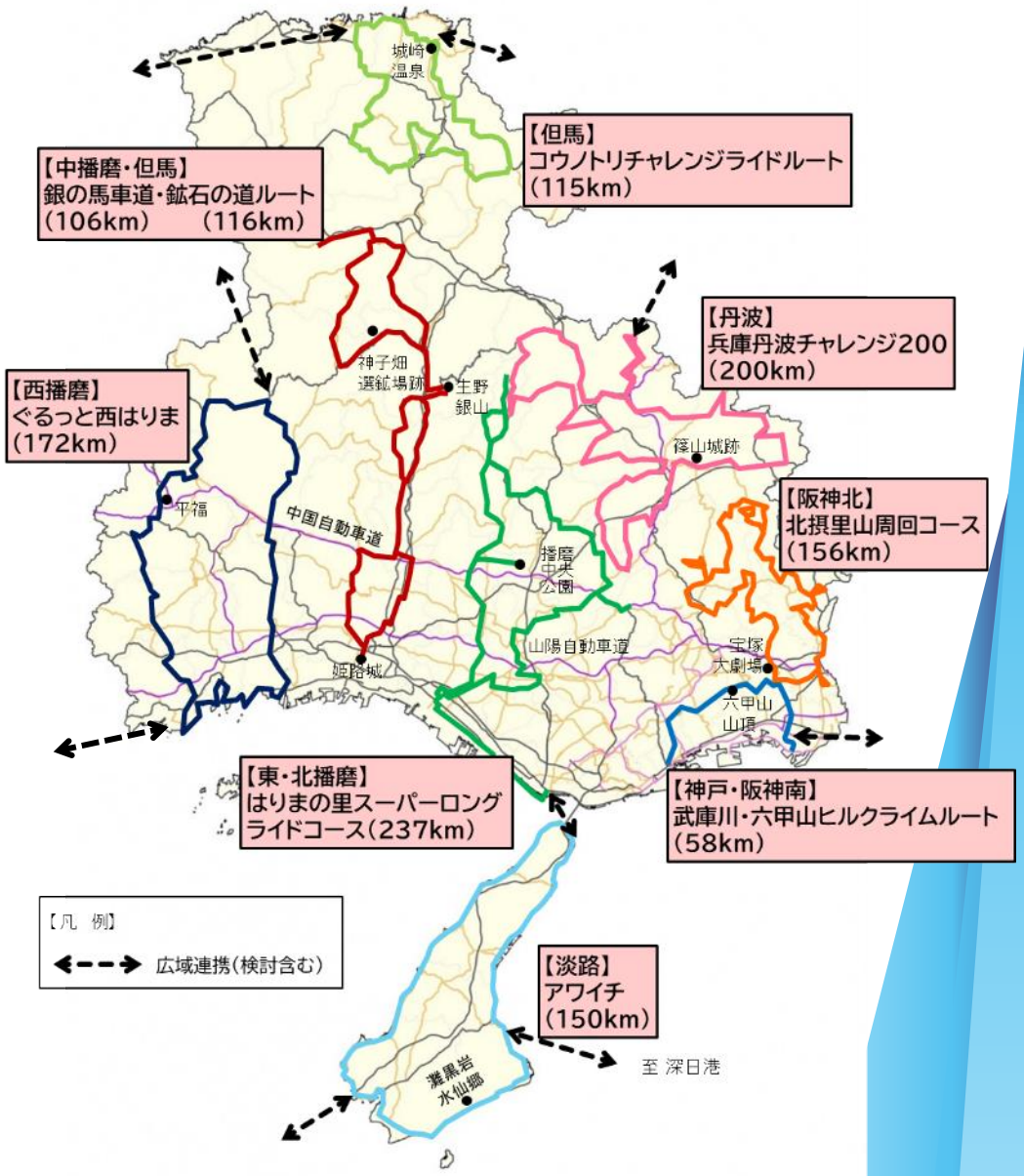
① 自転車活用の推進

・「兵庫県自転車活用推進計画」に基づき、自転車の活用を総合的かつ計画的に推進

・「ひょうごサイクリングモデルルート」において、走行環境整備等を推進し、質の高いサイクリング環境を創出

・特に「アワイチ」はナショナルサイクルルート指定を視野に入れた整備を推進

ひょうごサイクリングモデルルート



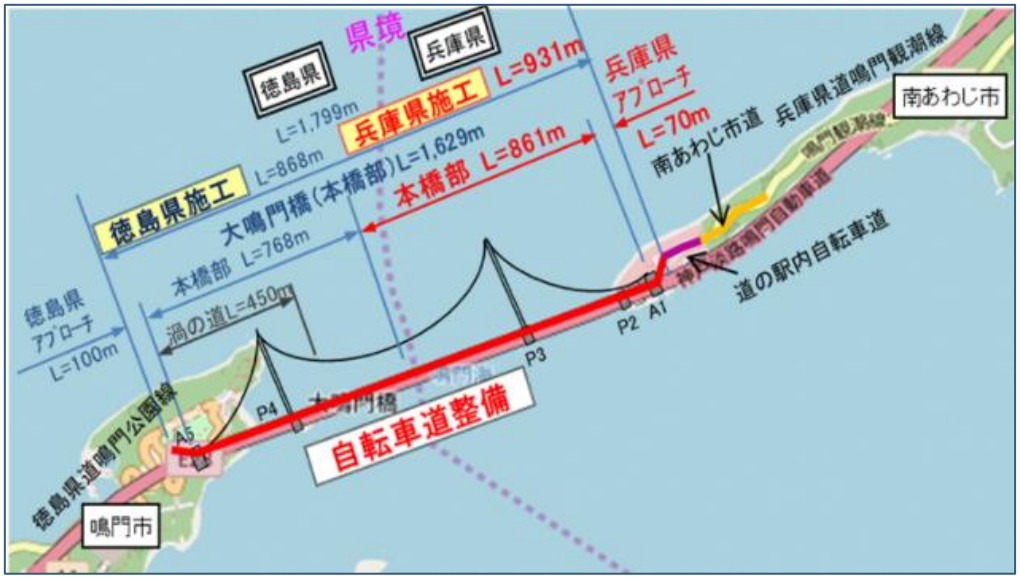
2　道路整備の取組状況

Ⅱ【生活】安全・安心で住みやすい県民生活の実現

（2）地域の交流・日々の暮らしを支える道路整備

② 大鳴門橋自転車道の整備
（南あわじ市～徳島県鳴門市 L=1.8km うち兵庫県分 L=0.9km）　[県事業(徳島県と共同)]

・令和６年７月22日に起工式を開催し、橋梁工事着手
・共同事業者の徳島県や工事委託先の本州四国連絡橋高速道路（株）と調整しながら整備を推進中
・R8年9月1日に「大鳴門橋自転車道連絡会議」を開催し、本州四国連絡橋高速道路（株）の工事完了が遅れることを公表済
・今後、県で整備する管理棟工事や監視カメラ等の設備工事の工程を精査のうえ早期開通を目指す



大鳴門橋自転車道の概要



整備イメージ

2　道路整備の取組状況

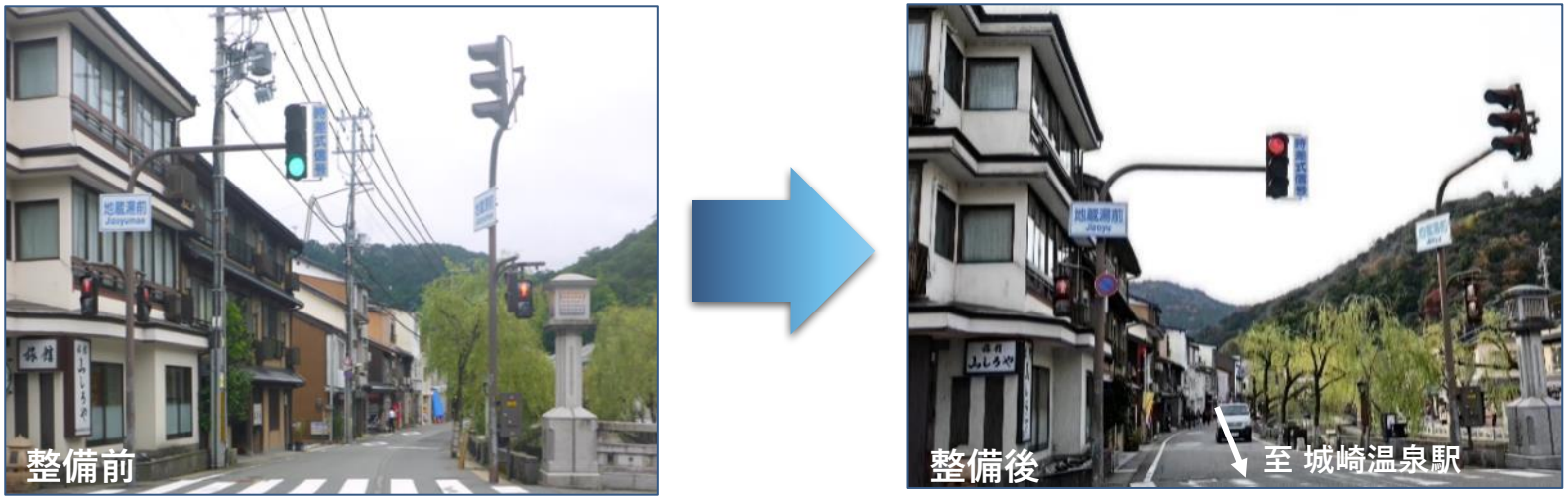
Ⅱ【生活】安全・安心で住みやすい県民生活の実現

（3）都市の環境改善

1）無電柱化の推進（兵庫県無電柱化推進計画（R6～R10））

防災機能の強化、安全で安心な通行空間の確保、良好な景観形成等を目的として、「兵庫県無電柱化推進計画」に基づき、無電柱化を推進

【主な事業実施箇所】
［継続］
・県道 芦屋停車場線　(芦屋市)
・県道 生瀬門戸荘線　(宝塚市)
・県道 豊岡竹野線 [Ⅱ工区]　(豊岡市)



県道 豊岡竹野線 [Ⅰ工区]（豊岡市 城崎温泉街）

2　道路整備の取組状況

Ⅲ【防災・減災】防災・減災対策による自然災害に強い社会の実現

・激甚化する災害に強く、安全で信頼性の高い道路ネットワークを構築するため道路防災事業 等の着実な推進

・災害発生後の初期段階から交通の確保が可能となるよう緊急輸送道路等の整備を集中的に推進
・減災のための情報発信や災害に備えた道路啓開訓練などのソフト対策の推進

（１）切迫する大規模地震に備える地震･津波対策

１）道路防災の推進

（２）発災後の迅速な復旧･復興を支える緊急輸送道路等の機能強化

１）緊急輸送道路等の機能強化

２）高規格道路の未整備区間の早期整備による道路ネットワークの強化（再掲）

（３）減災のための情報発信等

１）わかりやすい規制情報等の提供

２）道路啓開訓練

（４）災害復旧

芦屋市



落橋防止装置

宍粟市



落石防護柵

2　道路整備の取組状況

Ⅲ【防災・減災】防災・減災対策による自然災害に強い社会の実現

（1）切迫する大規模地震に備える地震･津波対策

1）道路防災の推進（ひょうご道路防災推進10箇年計画（R6～R15））

災害に強い安全な道路ネットワークを構築するため、「ひょうご道路防災推進10箇年計画」に基づき、緊急輸送道路や被災した場合に社会的影響の大きい道路の橋梁耐震補強や法面防災対策を推進

① 橋梁耐震対策

落橋・倒壊恐れのある橋梁のうち被災した場合に社会的影響が大きい15橋※や地震発生時に路面に段差が生じる恐れのある橋梁のうち緊急輸送道路上の124橋について、落橋防止装置や橋脚補強等の整備を推進

※ 交通量１万台/日以上の橋梁、100m以上の長大橋、跨道橋、跨線橋、落橋した場合に孤立集落が発生する橋梁

【主な事業実施箇所】
［継続］
・国道 250号[播州大橋]　　(加古川市・高砂市)
・県道坂越御崎加里屋線[赤穂海浜大橋]（赤穂市）



落橋防止装置・橋脚補強
県道曽根阿弥陀線 [庵ノ下橋]（高砂市）

2　道路整備の取組状況

Ⅲ【防災・減災】防災・減災対策による自然災害に強い社会の実現

（1）切迫する大規模地震に備える地震･津波対策

② 法面防災対策

防災点検に基づく要対策箇所のうち、緊急輸送道路や被災した場合に社会的影響が大きい道路※の342箇所における落石防止網や落石防護柵等の整備を推進

※ 交通量１万台/日以上の道路、被災すると孤立集落が発生する道路

【主な事業実施箇所】

［継続］

・県道 宍粟下徳久線　　(宍粟市)

・国道 429号　　(丹波市ほか)



法面安定工
県道 宍粟下徳久線（佐用町）



吹付法枠工・落石防護網工
県道 洲本灘賀集線（洲本市）

2　道路整備の取組状況

Ⅲ【防災・減災】防災・減災対策による自然災害に強い社会の実現

（2）発災後の迅速な復旧･復興を支える緊急輸送道路等の機能強化

1）緊急輸送道路等の機能強化

① 緊急輸送道路等の整備

災害発生後の初期段階から交通の確保が可能となるよう緊急輸送道路等の整備・強化を推進

【主な事業実施箇所】
［継続］
・県道 川西篠山線 [屏風岩]　(猪名川町)
・国道 427号 [西脇道路(上野)]　(西脇市)



県道 川西篠山線［屏風岩］
（猪名川町）

② 道路防災の推進（再掲）

2）高規格道路の未整備区間の早期整備による道路ネットワークの強化（再掲）

災害発生後の救急救命活動や緊急物資輸送等に必要な強靱な道路ネットワークの確保に向け、高規格道路の未整備区間の早期整備解消を推進

2　道路整備の取組状況

Ⅲ【防災・減災】防災・減災対策による自然災害に強い社会の実現

（3）減災のための情報発信等

1）わかりやすい規制情報等の提供

① 道路情報総合管理システム

・道路規制状況や積雪・冠水状況等のホームページによる情報配信
・台風等による災害発生時の規制箇所一覧及び位置情報の提供



「道路情報総合管理システム」QRコード

※画像は生成AIを使用して作成



インターネットによる道路規制情報の提供

2　道路整備の取組状況

Ⅲ【防災・減災】防災・減災対策による自然災害に強い社会の実現

（３）減災のための情報発信等

② 道路情報板等

・災害等により広域的な迂回が必要となった場合における、県内広域の道路情報板を活用した通行規制箇所及び迂回路等の情報発信
・冠水の恐れのある道路アンダーパス部における、車両進入による水没事故の未然防止を目的とした冠水情報板（27箇所）及び空気式遮断機（６箇所）等の設置
・南海トラフ巨大地震等に備えた、津波警報等と連動する津波情報板の整備及び淡路島・瀬戸内海沿岸の標識柱等への海抜表示シートの設置



道路情報板
※文字はイメージ



空気式遮断機
国道178号 中陰アンダーパス前
（豊岡市）



津波情報板
※文字はイメージ

トピックス⑤

県管理道路のアンダーパス

・令和８年８月13日に発生した千葉豪雨による道路アンダーパスの冠水事故を受け、県管理道路のアンダーパス全38か所の緊急点検を実施　➡　新たな異常や不具合無し

・千葉県の事案を踏まえ、通行止めのバリケード設置や交通誘導員配備等の対応を行う緊急業者との連絡体制を再確認など、大雨時の警戒態勢の徹底

県管理道路のアンダーパスにおける施設情報

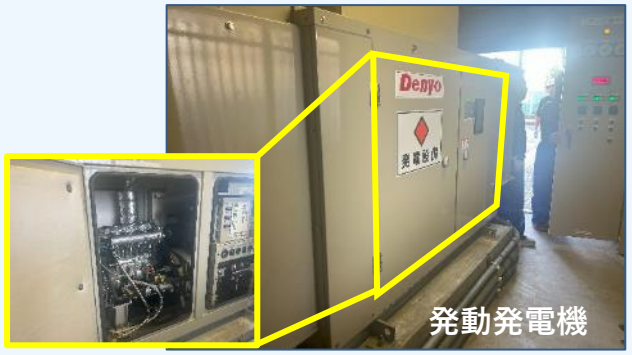
項　目	全箇所数	雨水排水方式				情報提供	進入対策
		自然流下	ポンプ排水	うち発動発電機		路面冠水情報板	エアー遮断機
				有	無		
県管理道路	**38**	19	19	16	**3**	**27**	6

R8緊急点検の点検箇所数

点検施設	点検内容	点検箇所数
排水施設	土砂・落葉の目詰まり確認、通水状況の確認	38
排水ポンプ	動作確認、目視による損傷確認、ボルト緩み確認　等	19
発動発電機	動作確認、電圧測定、燃油量の確認　等	16
冠水情報板	動作確認、電圧測定、ボルト緩み確認　等	27







点検状況
（県道今津港津門大箇線　久寿川地下道）

トピックス⑤

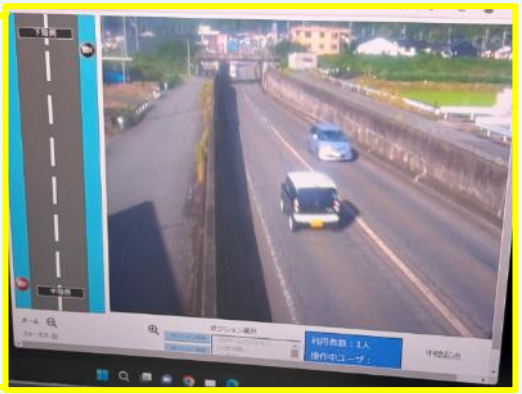
兵庫県アンダーパス連絡会議を開催

① 目的　アンダーパスでの冠水事故防止に向けた、道路管理者や警察など関係機関同士の情報共有のため

② 概要　日　時：令和８年10月27日（火）
構成員：国土交通省 兵庫国道事務所ほか、県内全市町の道路担当課、兵庫県警交通部交通規制課
兵庫県 危機管理部（災害対策課）、土木部（道路保全課、道路街路課）
その他：エアー遮断機、監視カメラ等のデモンストレーション

設置イメージ図 ※画像は生成AIを使用して作成





CCTV伝送映像
（イメージ）



エアー遮断機

簡易監視カメラ（バッテリー・ソーラーパネル付）

2　道路整備の取組状況

Ⅲ【防災・減災】防災・減災対策による自然災害に強い社会の実現

（３）減災のための情報発信等

③ 事前通行規制※

・県内193区間での事前通行規制区間の設定
・令和６年５月28日の豪雨に伴う54区間で事前通行規制を実施し、このうち２区間で倒木や土砂流出が発生したものの、通行車両等の事故を未然に防止

参考：令和7年度事前通行規制実績　12区間
※地域毎の一定時間内基準累積雨量等による通行止



倒木の状況　県道 野島浦線（淡路市）

２）道路啓開訓練

・災害対策基本法の改正（平成26年11月）を踏まえた、大規模災害発生の際、道路管理者による通行の支障となる放置車両の移動が可能
・平成27年度から毎年実施する関係機関※と連携した道路啓開訓練の実施

※県警、JAF、兵庫県レッカー組合、建設業協会、自動車整備振興会、警備業協会等



道路啓開訓練（令和７年11月９日）
（放置車両レッカー移動）

・道路啓開計画の策定及び見直し※を開始
令和７年４月　能登半島地震等を踏まえ、道路啓開計画が法定化
令和８年３月　近畿地整が「近畿道路啓開計画」を公表
令和８年～　兵庫県道路啓開計画策定協議会（会長：兵庫県土木部長）を設立し、兵庫県版道路啓開計画の策定・見直しを開始

※令和２年３月に兵庫県阪神淡路地域道路啓開計画（案）を策定済み



第1回 兵庫県道路啓開計画協議会

2　道路整備の取組状況

Ⅲ【防災・減災】防災・減災対策による自然災害に強い社会の実現

（４）災害復旧

・自然災害により被災した道路施設の早期復旧
・令和５年８月台風７号等により発生した道路災害31箇所の復旧工事完了（令和7年度末）
・令和６年８月台風10号により発生した道路災害１箇所の復旧工事完了（令和７年９月）
・なお、令和8年6月の豪雨で発生した道路災害１箇所は、8月末に査定を終え、早期復旧を目指している



R5災　県道 阿万福良湊線（南あわじ市）



R8.6　被災状況
県道阿万福良湊線
（南あわじ市）

2　道路整備の取組状況

Ⅳ【持続】老朽化対策や脱炭素化への取組み等による持続可能な社会の実現

・社会基盤施設の老朽化の割合が急増する中においても良好な施設機能の維持

・橋梁などをはじめとした道路施設の計画的な老朽化対策、地域のニーズ等に応じた歩道橋などの撤去、道路の除草・樹木剪定、舗装修繕など適切な日常維持管理を推進
・カーボンニュートラルの実現に向けた道路の取組や、インフラ分野のデジタル化･スマート化を推進

（１）計画的・効率的な老朽化対策

１）老朽化対策の実施

２）施設の統廃合

３）安全安心な日常維持管理の実施

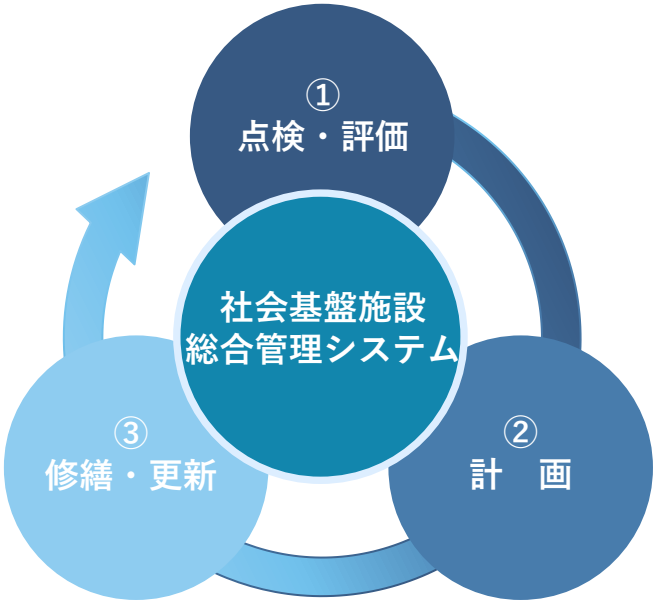
（２）官民連携（参画と協働による維持管理）

（３）カーボンニュートラルの実現

１）カーボンニュートラルポートの形成支援

２）脱炭素を目指す道路の取組

（４）インフラ DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進



メンテナンスサイクル

2　道路整備の取組状況

Ⅳ【持続】老朽化対策や脱炭素化への取組み等による持続可能な社会の実現

（1）計画的・効率的な老朽化対策

1）老朽化対策の実施

① ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画(R6～R15)

橋梁やトンネルなどの道路施設の安全性の確保、総コストの低減及び予算の平準化を踏まえた計画的かつ効率的な老朽化対策の推進

【主な事業実施箇所】
［継続］
・国道 482号　[久斗トンネル]　（豊岡市）
・県道 豊岡竹野線　[城崎大橋]旧橋撤去　（豊岡市）





県道 白浜姫路停車場線 [阿保橋]（姫路市）

［道路施設の老朽化対策実施箇所数］

施設名		施設数		10箇年で取り組む箇所数	
① 橋梁		4,672	橋	465	橋
② 舗装		4,100	km	950	km
③ トンネル	覆工	114	箇所	15	箇所
	設備	114	箇所	50	箇所
④ アンダーパス		16	箇所	5	箇所
⑤ 横断歩道橋等	横断歩道橋	191	箇所	130	箇所
	組立歩道	12.8	km	5.6	km
⑥ 道路附属物(道路照明灯等)		18,734	基	5,130	基
⑦ 道路法面施設		20,702	箇所	400	箇所
⑧ 大型カルバート		13	箇所	4	箇所
⑨ シェッド		5	箇所	4	箇所

2　道路整備の取組状況

Ⅳ【持続】老朽化対策や脱炭素化への取組み等による持続可能な社会の実現

（1）計画的・効率的な老朽化対策

② 定期点検に基づくメンテナンスサイクルの実施

・平成26年７月施行の「道路法施行規則の一部を改正する省令」に基づく、橋梁やトンネル等の道路施設を対象とした適正な技能を有する者による近接目視点検の実施
・５年に１回の法定点検の実施
・令和元～５年度おける２巡目点検の完了及び令和６年度からの３巡目点検の実施
・補修が必要とされた橋梁の計画的な修繕
・「点検・診断・措置・記録(メンテナンスサイクル)」の計画的な実施による道路構造物の健全な保全

<橋梁の点検結果(令和７年度末時点)>

施設名	点検年次	点検結果				
		判定区分				合計
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	
橋梁	１巡目（H26～H30）	1,066	3,038	462	0	4,566
	２巡目（R1～R5）	618	3,815	198	0	4,631
	３巡目（R6～R10）	193	1,367	90	0	1,650

区分		定義
Ⅰ	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態
Ⅱ	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
Ⅲ	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
Ⅳ	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

<Ⅲ判定橋梁修繕の進捗状況(令和７年度末時点)>

Ⅲ判定の割合（%）	Ⅲ判定箇所着手率（%）	Ⅲ判定箇所完了率（%）
10.1%	100.0%	98.9%
4.3%	99.5%	74.7%
5.5%	7.8%	1.1%



橋梁点検車による点検

2　道路整備の取組状況

Ⅳ【持続】老朽化対策や脱炭素化への取組み等による持続可能な社会の実現

（1）計画的・効率的な老朽化対策

2）施設の統廃合

老朽化が著しく、また、通学児童の利用が無くなるなど建設当時の必要性が失われている 歩道橋などの道路施設について、社会情勢の変化や地域のニーズを踏まえ、関係者等との調整の上、撤去を検討

【主な事業実施箇所】
［継続］
・県道 山本伊丹線　　[鈴原歩道橋]　　（伊丹市）

3）安全安心な日常維持管理の実施

① 舗装修繕などの実施

・道路の舗装修繕や除草などの日常的な維持管理における、限られた予算の中での修繕範囲や実施時期の工夫による管理水準の確保
・道路パトロールの原則１日１回の実施及び緊急対応が必要な箇所の部分的な修繕等による適切な維持管理



道路パトロールによる路面補修

2　道路整備の取組状況

Ⅳ【持続】老朽化対策や脱炭素化への取組み等による持続可能な社会の実現

（1）計画的・効率的な老朽化対策

② 冬期の交通対策

・但馬地域を中心とする県北部における、冬季の降雪や路面凍結による交通障害を防止を目的とした消雪工、積雪センサー等の施設整備並びに除雪作業や積雪情報の提供

・将来にわたる安定的な除雪体制の確保を目的とした「但馬地域除雪体制検討会」の設置及び除雪業務に関する課題とその対応の検討

【主な事業実施箇所】

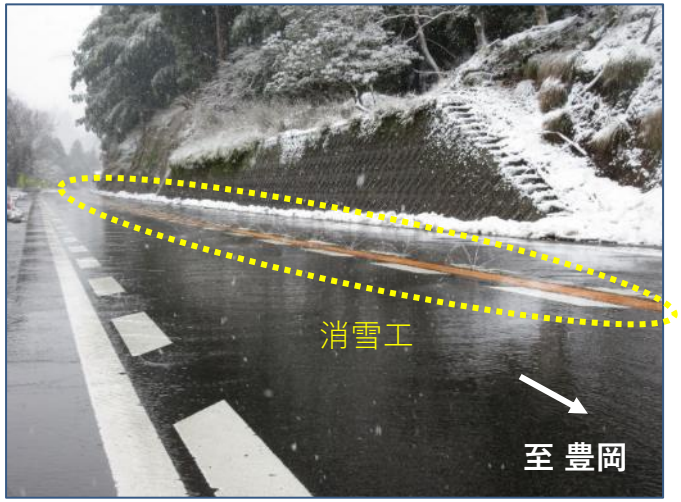
［継続］

・国道 178号 [除雪]　(新温泉町～豊岡市)

・国道 482号 [消雪工]　(豊岡市)



除雪状況
山陰近畿自動車道 [浜坂道路]（新温泉町）



消雪工
国道 178号（豊岡市）

2　道路整備の取組状況

Ⅳ【持続】老朽化対策や脱炭素化への取組み等による持続可能な社会の実現

（1）計画的・効率的な老朽化対策

③ 道路区画線の引き直し・通学路の除草などの実施

令和４年度から県民の安全安心に直結する日常維持管理の財源となる県単土木費を充実させ、目に見える形での管理水準の向上を図る

＜道路区画線の引き直し＞
・令和３年度時点で引き直しが必要と判断したセンターライン等の区画線を５年間で引き直す（3,000km）



＜道路区画線の引き直し＞
山陰近畿自動車道（新温泉町）

＜通学路のカラー舗装の更新（令和７年度２月補正）＞
・交通量が多く（4,000台以上/日）かつ歩道のない通学路で、設置後約10年経過するなど、劣化が著しい区間54kmを塗り直す



＜通学路のカラー舗装の更新＞
県道 小野志方線（加古川市）

2　道路整備の取組状況

Ⅳ【持続】老朽化対策や脱炭素化への取組み等による持続可能な社会の実現

（1）計画的・効率的な老朽化対策

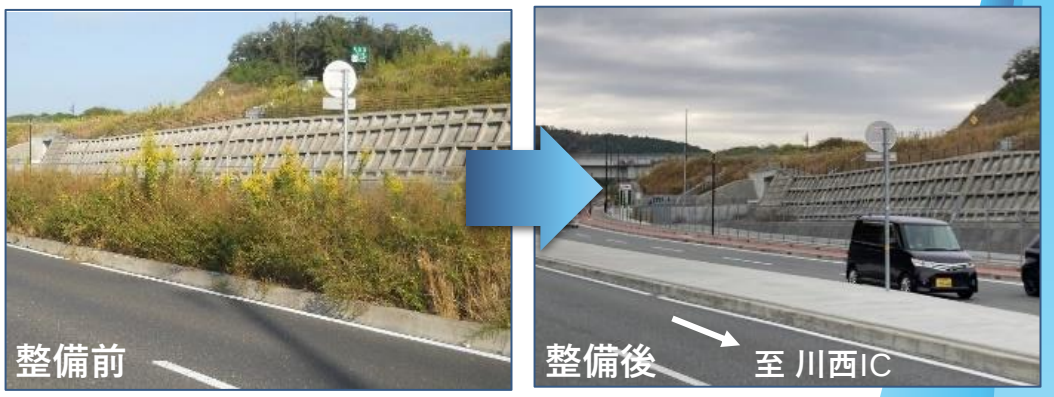
③ 道路区画線の引き直し・通学路の除草などの実施

＜通学路等の年２回の除草＞
・通学路や交差点周辺など交通安全上重要な箇所
　年１回から年２回除草に変更

・中央分離帯など除草作業時の危険回避や省力化を
　図れる箇所：張りコンクリートを実施



＜通学路等の除草＞
県道 川西篠山線（川西市）



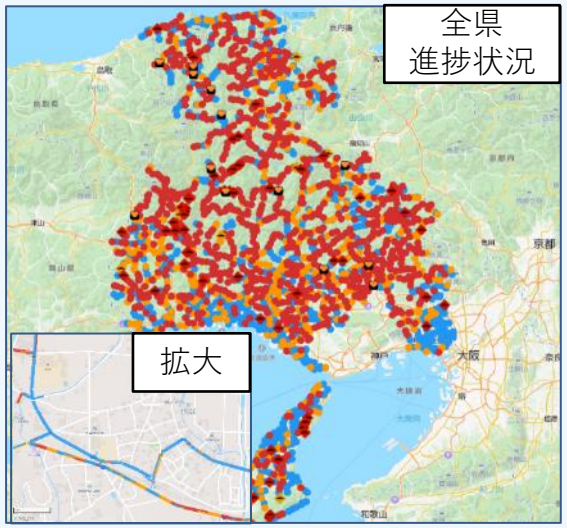
＜中央分離帯の張りｺﾝｸﾘｰﾄ＞
県道 川西インター線（川西市）

トピックス⑥

新たな課題に対応した維持管理の取組

AIを活用した路面性状・区画線摩耗調査

・ｽﾏｰﾄﾌｫﾝによる道路点検DXｼｽﾃﾑの活用
・道路管理ﾊﾟﾄﾛｰﾙ車にｽﾏｰﾄﾌｫﾝを設置







歩道除雪車草刈ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄの試行

・歩道除雪車の活用による雑草管理の省力化
・冬季の『除雪』、夏季の『草刈り』による車両の通年活用





県道三尾浜坂線（新温泉町）

防草対策の試行（鉄鋼ｽﾗｸﾞ）

・張りｺﾝｸﾘｰﾄの施工費用の大幅な上昇
・低ｺｽﾄな防草対策として鉄鋼ｽﾗｸﾞを活用





国道312号（朝来市）

2　道路整備の取組状況

Ⅳ【持続】老朽化対策や脱炭素化への取組み等による持続可能な社会の実現

（2）官民連携（参画と協働による維持管理）

① ひょうごアドプト

・「ひょうごアドプト」制度を活用した、整備後の道路における草刈り、清掃、植栽等の簡易な維持管理
・地域住民等の活動団体とのパートナーシップによる維持管理の推進



県道 三田後川上線（三田市）

② 道路愛護活動

・県が管理する道路等の地域住民等による自発的なボランティア活動（清掃等美化活動）への支援

③ 道路施設ネーミングライツ

・新行革プラン再点検に伴うネーミングライツの実施
・平成24年度から歩道橋及び平成26年度からのトンネルをネーミングライツ対象とした公募の実施



県道 尼崎池田線
（伊丹市）



県道 尼崎池田線
（伊丹市）

2　道路整備の取組状況

Ⅳ【持続】老朽化対策や脱炭素化への取組み等による持続可能な社会の実現

（3）カーボンニュートラルの実現

1）カーボンニュートラルポートの形成支援

① 高規格道路の整備推進（再掲）

渋滞が著しい大阪湾と播磨灘臨海部において、ダブルネットワーク化に向けた高規格道路の整備により、ベイエリアの活性化やカーボンニュートラルポート（CNP）形成の取組を支援



2　道路整備の取組状況

Ⅳ【持続】老朽化対策や脱炭素化への取組み等による持続可能な社会の実現

（3）カーボンニュートラルの実現

2）脱炭素を目指す道路の取組

① 兵庫県道路脱炭素化推進計画の策定

道路法改正（R7.10.1施行）により、道路管理者が相互に協働し脱炭素化を促進する取組が全国的にスタート
兵庫県道路脱炭素化推進計画を策定（R8年度公表予定）し、道路分野における脱炭素化の取組を推進

・計画期間：2040年度（R22）まで
・取組内容：道路照明灯のLED化、自転車通行空間の整備、高規格道路の整備、主要渋滞箇所の解消　など



トンネル照明のLED化
県道 山南多可線 [石原坂トンネル]（西脇市）

2　道路整備の取組状況

Ⅳ【持続】老朽化対策や脱炭素化への取組み等による持続可能な社会の実現

（4）インフラ DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

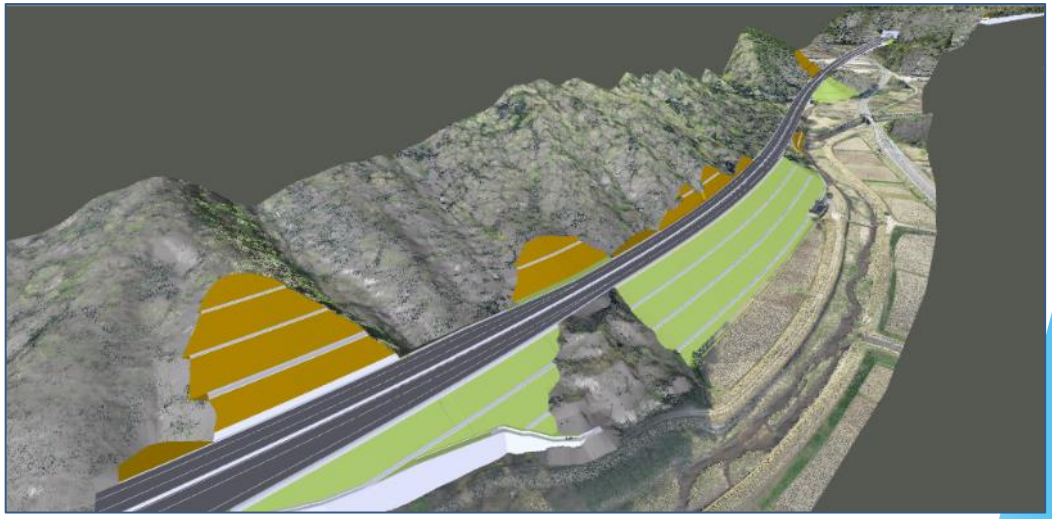
生産性向上と、インフラ建設・維持管理の効率化、デジタル社会に適応した働き方改革を進めるため、インフラ分野のDXを推進

① 道路整備工事におけるDXの取組

BIM/CIMモデル（3次元モデル）の導入、遠隔臨場の試行、ICT活用工事の拡充等に取り組んでいる。



国道 372号 [加西バイパス]



山陰近畿自動車道 [竹野道路]

BIM/CIMモデル（3次元モデル）を活用した事例

2　道路整備の取組状況

Ⅳ【持続】老朽化対策や脱炭素化への取組み等による持続可能な社会の実現

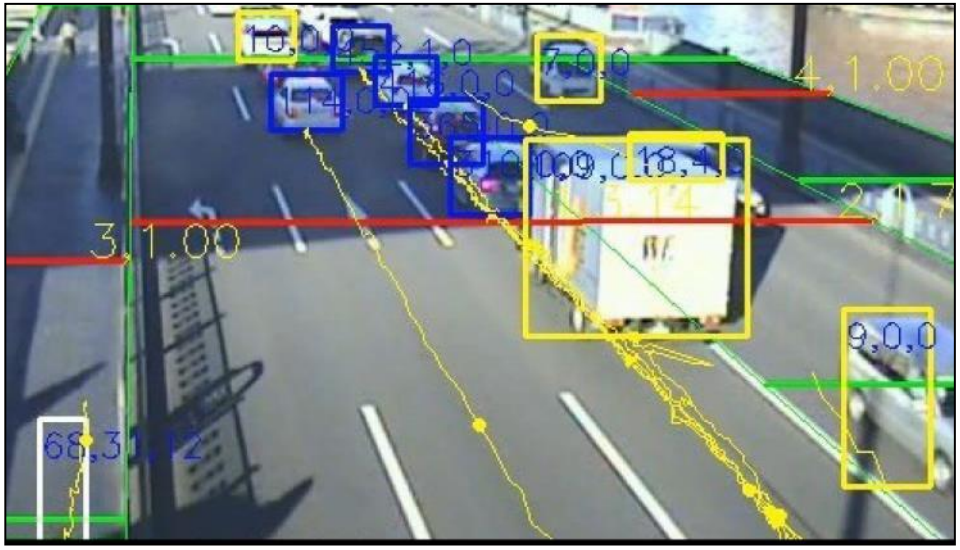
（4）インフラ DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

② 橋梁点検や交通量調査における新技術の導入

・近接目視が必要な橋梁点検におけるドローンを活用した点検の実施
・ビデオ映像を用いたAI解析による交通量の計測



ドローンによる橋梁点検



ビデオ画像のAI解析による交通量計測のイメージ
（出典：国土交通省資料）

兵庫県

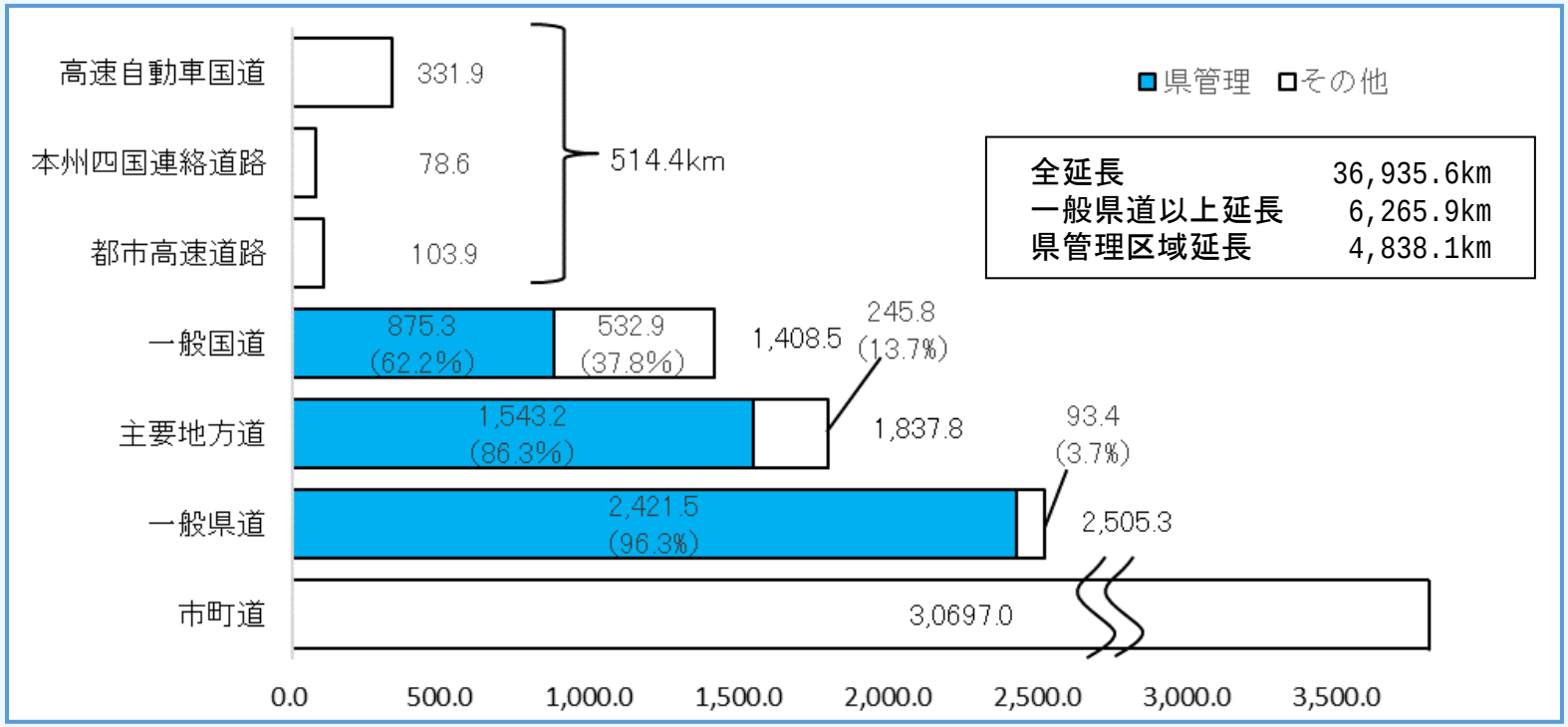
参考資料

道路整備の現況

1）道路の延長

兵庫県内の全道路延長は、約36,940km。このうち一般県道以上の道路延長は約6,270kmで全体の約17％を占めている。その内訳は、高速自動車国道、本州四国連絡道路及び都市高速道路が約510km、一般国道約1,410km、主要地方道約1,840km、一般県道約2,510kmである。

このうち、兵庫県は一般国道約880km（約62％）、主要地方道約1,540km（約86％）一般県道約2,420km（約96％）、計488路線約4,840kmを管理している。



道路種類別延長（令和７年４月１日時点）

出典：兵庫県調べ
市町道は道路統計年報
（R6.3.31時点）

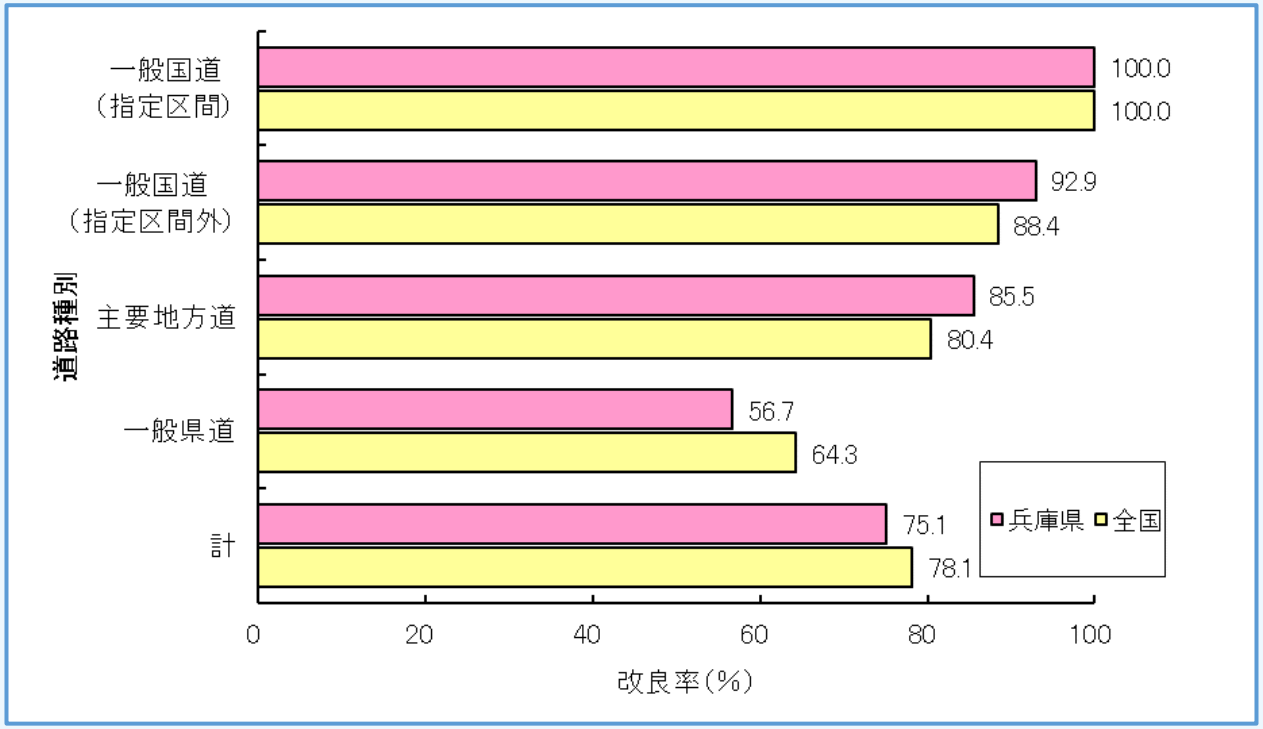
参考資料

道路整備の現況

2）道路の改良率

兵庫県内の国道及び県道の改良率(２車線改良)は75.0%(全国平均78.0%)であり、基幹的な道路ほど高くなっている。

注）改良率（2車線改良）：(車道幅員5.5m以上改良済延長／実延長) × 100
実延長　　：総延長から重用延長、未供用延長及び渡船延長を除いた延長



出典：道路統計年報

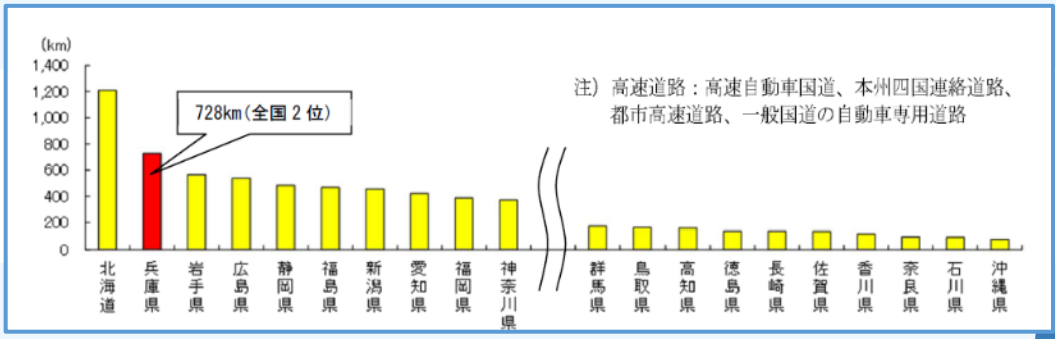
道路種類別改良率（２車線改良）（令和６年３月31日時点）

参考資料

道路整備の現況

3）高速道路の延長

兵庫県内の高速道路延長は728kmであり、全国２位。



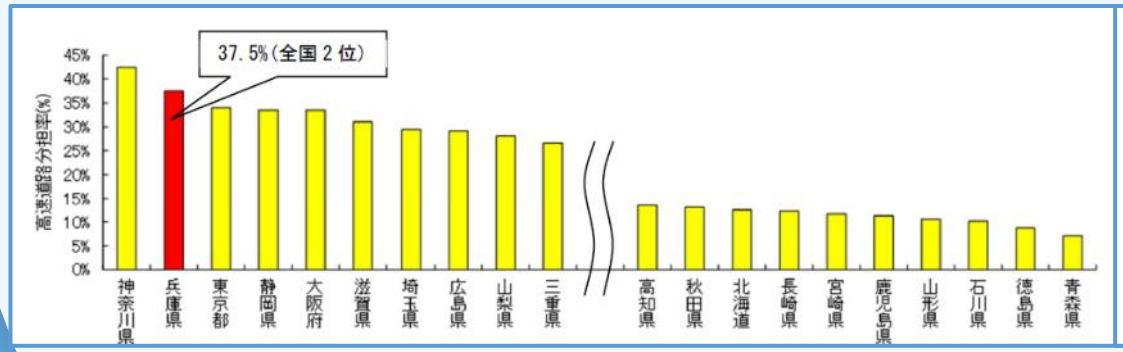
都道府県別高速道路延長（令和３年度）

4）高速道路の利用状況

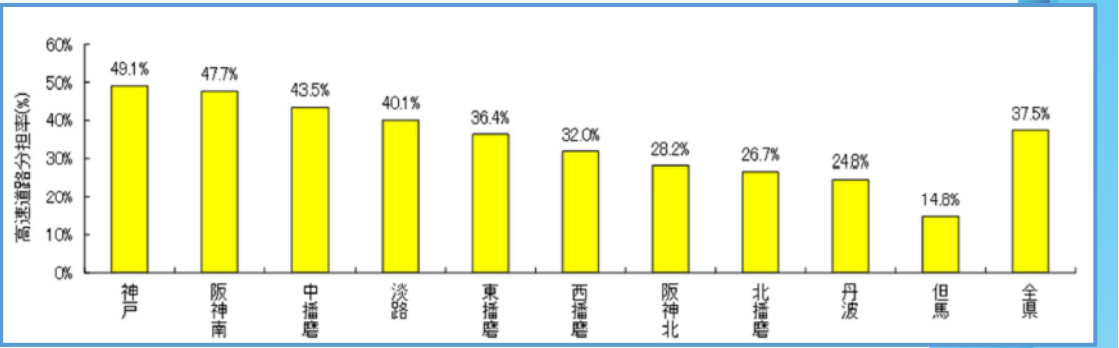
兵庫県内の高速道路分担率は37.5％であり、全国２位となっている。

県民局別に見ると、高速道路の整備が遅れているため、但馬の高速道路分担率が一番低い。

注）高速道路分担率：自動車の走行台キロに占める高速道路（一般国道以上の自動車専用道路）の走行台キロの割合



都道府県別高速道路分担率（令和３年度）



県民局別高速道路分担率（令和３年度）

出典：令和３年度全国道路・街路交通情勢調査

参考資料

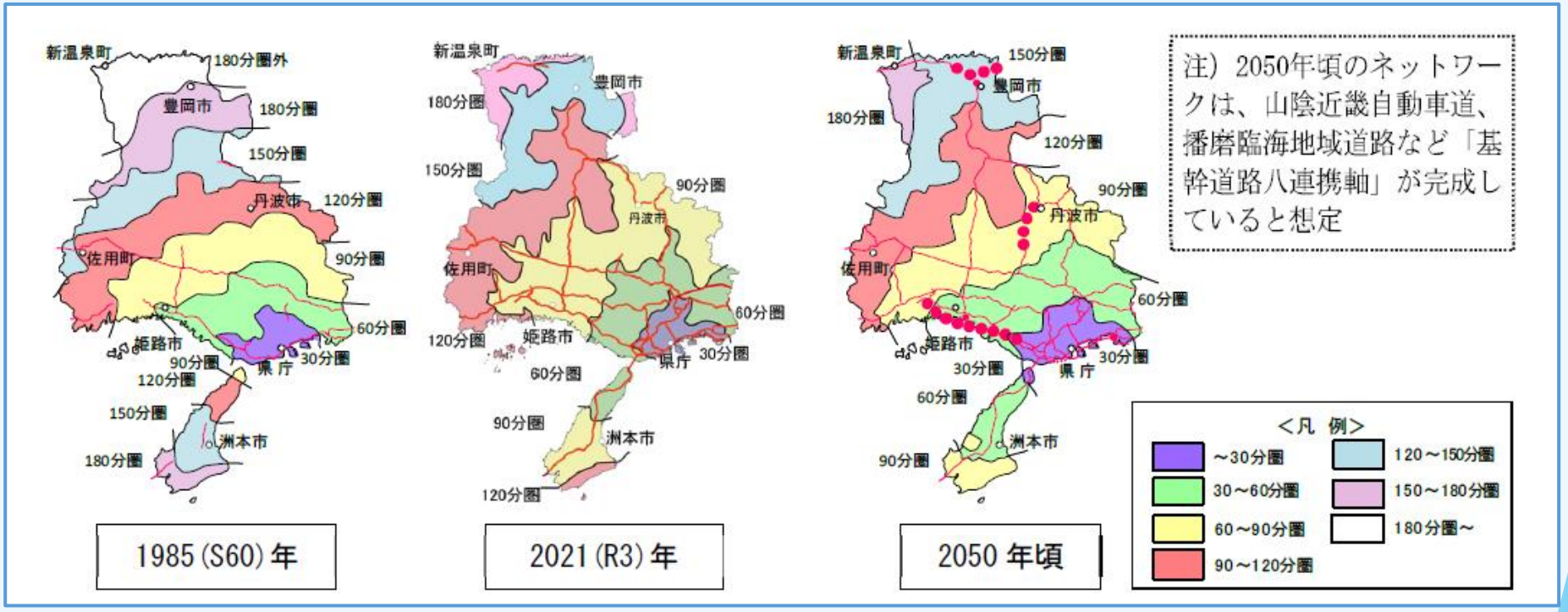
道路整備の現況

5）県内の移動時間の状況

自動車による県庁からの移動時間の圏域は、昭和60 年に150 分圏域であった洲本市などの淡路島の概ね全域が、明石海峡大橋の開通等により、90 分圏域内となっている。

また、３時間圏域外であった新温泉町などは、道路整備により移動時間が短縮し、令和3 年時点で兵庫県全域が３時間圏域内となっている。

今後、北近畿豊岡自動車道や山陰近畿自動車道の整備により、地域間の交流が促進される。



県庁からの等時間圏域図